学校番号	3005

令和２年度　工業科（建築系）

教科	工業	科目	課題研究	単位数	３単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

課題研究は、2 年間学んできた様々な建築系専門知識を組合わせ、実際にものづくりや、高度な技術に取り組むものです。

まずは、設計コース（計画系・造形系・パース系）と生産コース（木工系・材料系・研究系）に班分けをします。班分け後は、次の事項について作業をします。

①各班に分かれ、テーマや目標を決めます。

②目標を達成するための年間スケジュールを作成し、役割分担を決める。

より深く技術や知識を伸ばし、積極的に取り組み常に検証し問題点や課題を見つけ、それを改善・改良を繰り返し、知識・技術の向上を図る。また、年度末には、３年生・２年生が参加する成果発表会を実施する。

2　学習の到達目標

生徒自らが、これまでの学習により身につけてきた知識や技術を活用させ、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、問題解決の能力や自発的・創造的な学習態度を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通し、技術に関する深求的・創造的な能力を養おうとしている。	目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。	建築の専門分野に関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、協調や話し合いの進め方を身につけている。	産業界の発展と環境との調和や現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、自分なりの意見や考察ができる。
評価方法	・学習状況の観察 ・出席状況 ・授業内発表	・学習状況の観察 ・授業内発表	・学習状況の観察 ・授業内発表	・学習状況の観察 ・授業内発表 ・課題研究発表会

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
年間（前期・後期）	単元の分けなし（各パートでの課題内容）	1．オリエンテーション テーマの説明と班分け 2．計画 年間スケジュール作成 3．研究作業 設計コース 計画系 造形系 パース系 生産コース 木工系 材料系 研究系　等の作業 4．検証 改善および改良 目標達成度の確認 5．課題研究発表会 資料作成と発表準備	○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:テーマに対して目的を設定し、計画的に課題に取り組むことができる。自主的・継続的な学習を通して、技術・知識に関する探究的・創造的な能力を養おうとしている。 b:目的を理解し、達成するために、適切な手段を講じ、解決をめざし、自ら考え、適切に判断し、創意工夫する能力を身につけている。また、結果をまとめ、その成果を的確に表現できる。 c:建築の専門分野に関する基礎的な技術を身につけ、安全や環境に配慮し、実際の仕事を合理的に計画し、適切に処理するとともに、協調や話し合いの進め方を身につけている。 d:産業界の発展と環境との調和や現代社会における工業の意義や役割を理解している。また、自分なりの意見や考察ができる。	学習状況の観察 出席状況 授業内発表 課題研究発表会

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。